

日本医療薬学会 第2回臨床研究セミナー 開催報告書

臨床研究推進委員会 委員長 矢野育子

第2回臨床研究セミナー『連携して臨床研究を進めよう』を2022年4月17日(日)にハイブリッド開催(現地会場:大崎ブライトコアホール)しました。

本セミナーでは、第1回臨床研究セミナー『臨床研究を始めよう』で参加者から頂いた意見を基に、薬局や一般病院の薬剤師が大学等と連携しながら研究を進めていくために必要なTipsについて紹介することを目的に企画しました。

特別講演では、板井孝壺郎先生(宮崎大学医学部生命・医療倫理学分野)「“倫理的な研究”ってどんな研究?—実践に活かす「臨床倫理」と「研究倫理」の考え方—」、基調講演1:尾関佳代子先生(愛知学院大学薬学部)「薬局から発信する研究—日常業務の疑問をどのように研究に活かすか?—」、基調講演2:矢野義孝先生(京都薬科大学)「医療の場で考える研究計画と解析計画」、シンポジウム「連携研究を進める～はじめの一步と次の一步～」では、堀 智貴先生、在間優衣先生、河内明夫先生の3名にご講演頂きました。人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の一部改正により、4月1日から一般病院や薬局でのオプトアウトによる診療情報の利用が認められなくなったことがセミナーでも話題になりました。また、薬局で行う研究の紹介やPBPMや新しい業務について連携しながら論文にまとめた講演など何も大変興味深い内容でした。

セミナーには268名の事前登録がありましたが、コロナ感染の影響を受けてか会場登録者は11名でありました。終了後のアンケートでは、3分の1は第1回に続いての参加で、病院と薬局からの参加者は2:1でした。基調講演、特別講演、シンポジウムともほぼ満足との回答で、今後もハイブリッドでの開催を希望する意見が多かったです。

反省点としては、ハイブリッド開催にしたにもかかわらず会場での参加が少なかったことや、参加者数が第1回よりも少なかったことなどが挙げられますが、今回も多くの方の自由記載の意見と継続して開催を希望する意見をいただきましたので、次回の企画に生かして頂きたいと思います。最後に、企画や当日の運営にご協力いただきました武田副会頭及び研究推進委員会委員、医療薬学会事務局の皆様には感謝申し上げます。